

(2)確認ボーリング

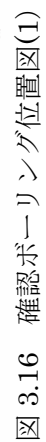
【確認ボーリングの目的】

確認ボーリングを以下の目的で実施した。確認ボーリングの位置を図 3.16～17 に示す。確認ボーリングはφ86 のオールコアである。

- ① 注入孔効果をコアより目視で確認する。
- ② 接着面を介するコンクリートの強度が所定強度以上であることを確認する。
- ③ ひび割れ面の位置の想定の妥当性を確認する。
- ④ 微小ひび割れへの注入効果を確認する。

【コアの評価】

確認ボーリングのコア評価を表 3.4 に示す。ひび割れ面の接着状態は、良好なエリア、樹脂は到達しているが接着が不十分なエリア、樹脂が到達していないエリアにわけられる。この接着不良範囲を図 3.18 に示す。4BL と 13BL の不良箇所には再注入を実施した。



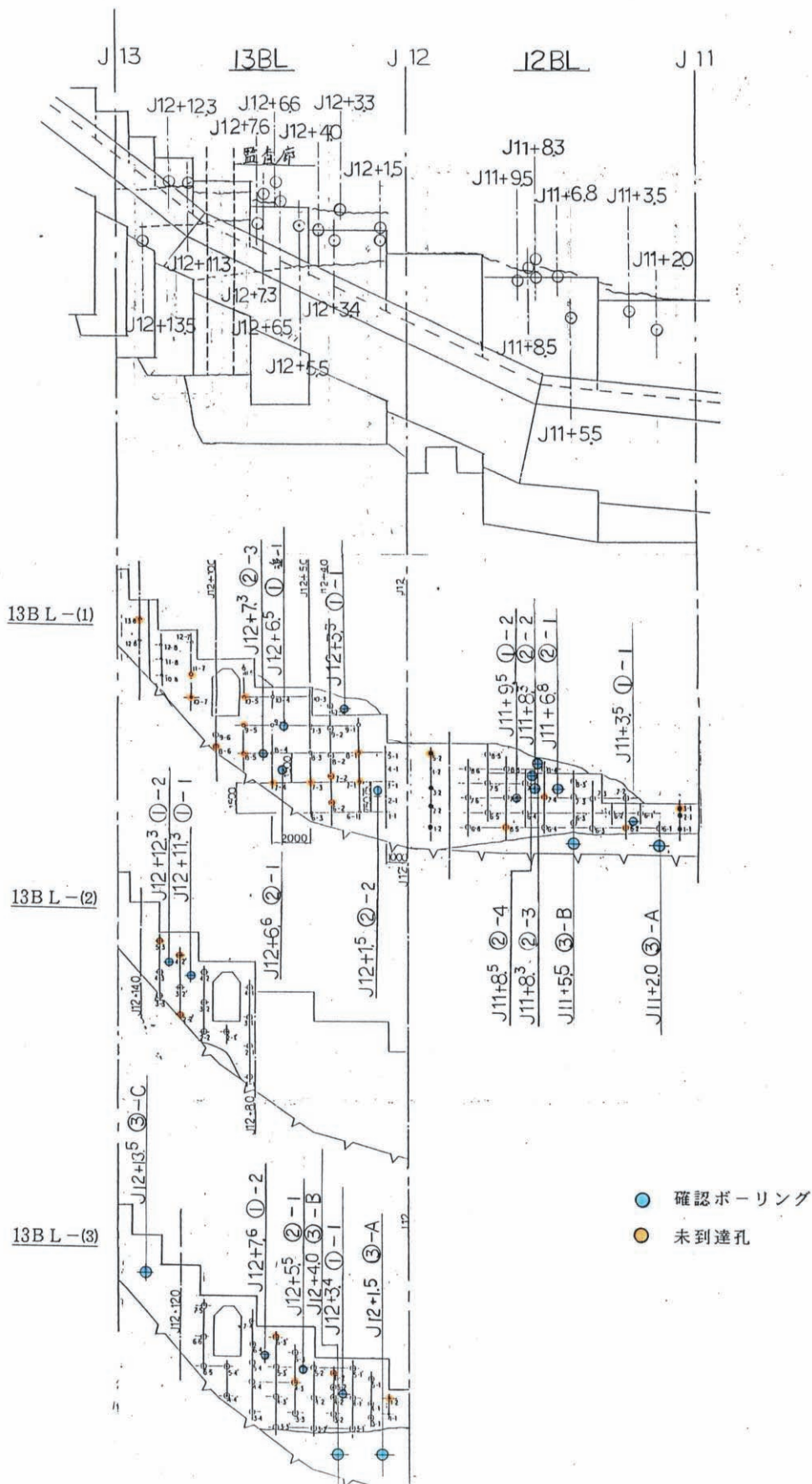


図 3.17 確認ボーリング位置図(2)